



2017 年度

環境報告書



トップマネジメントメッセージ

メッセージ

当社は、創業124周年を迎えることができました。これもお客様、代理店様はじめ当社の事業活動に関係する多くの方々のご協力、ご厚情によるものと感謝し、お礼を申し上げます。

昨年、ISOマネジメントシステム規格の改定に対応してシステムをブラッシュアップするとともに、品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムを統合し、より効率よく環境活動が進められ、それが生産性の向上に効果的に結びつくよう仕組みを改善しました。

時代ニーズに応じた環境貢献製品を着実に開発し提供することを通じ、ユーザー様の事業活動に環境貢献するとともに、事業所内では省エネルギー、廃棄物の削減に努め、環境負荷を抑制します。またサプライチェーンを軸に当社の環境方針とその活動の拡大を図ります。

引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

品質／環境担当役員

大下 実

品質／環境方針

株式会社イシダは、「三方良し」の企業理念に基づき、次の事項において品質／環境マネジメントを行う。

- 1) 製品、サービスおよびマネジメントシステムの継続的な改善により顧客満足を高める。
- 2) 環境に貢献する製品およびサービスの提供、環境に配慮した事業活動を通じ地球環境の保全に努める。
- 3) 製品、サービスの提供および事業活動に適用される要求事項、ならびに順守義務を満たす。
- 4) 製品、サービスの提供および事業活動によって発生しうる環境汚染を予防する。また持続可能な資源の利用を促進し、生物多様性の維持および生態系の保護に努める。
- 5) 関連する部門・階層で品質／環境目標を設定し、その達成に取り組む。

この品質／環境方針は、当社のために働くすべての人に理解を促し、利害関係者にも伝える。

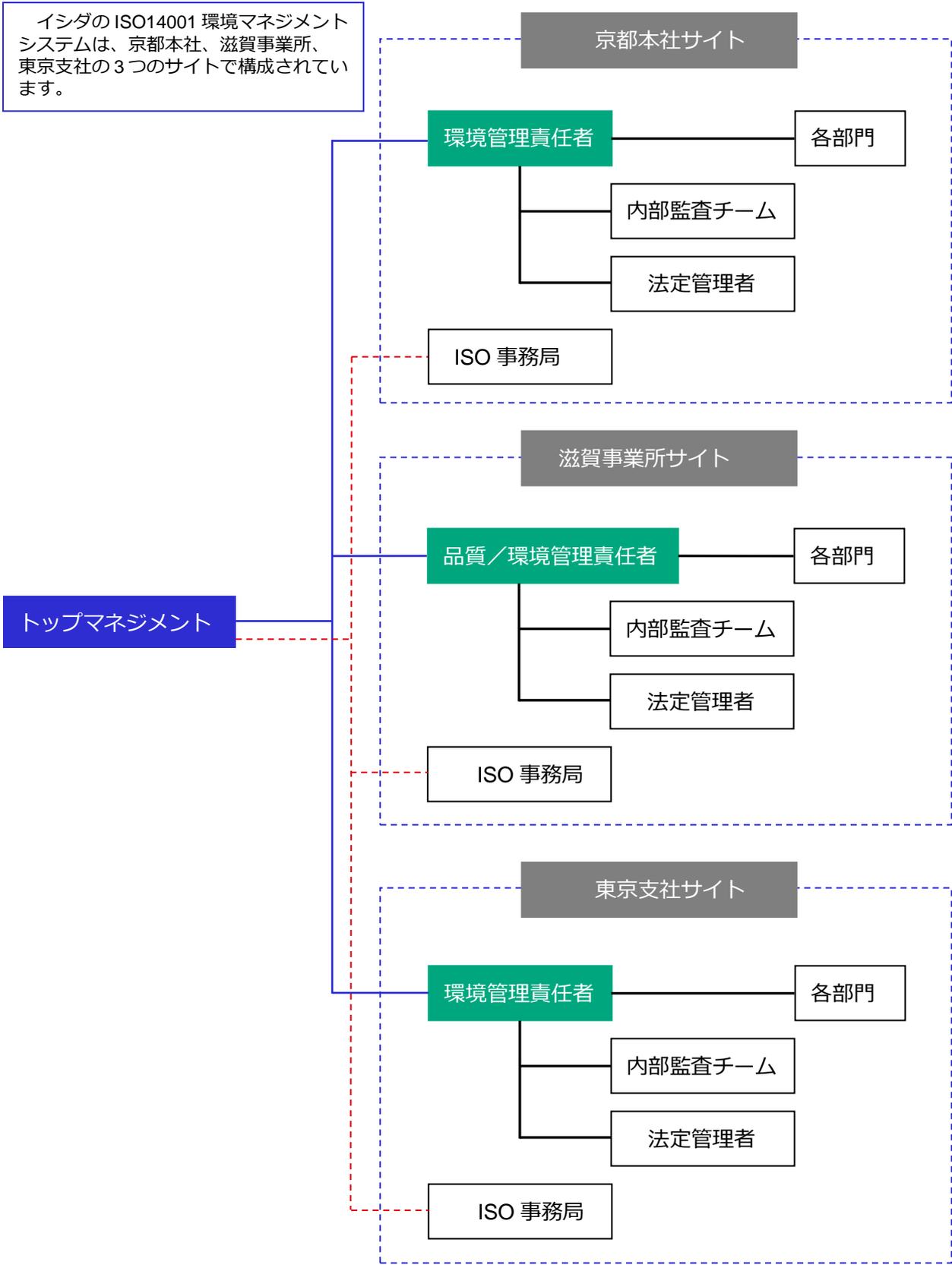
制定 2016 年 6 月 17 日

改定 2017 年 4 月 27 日

目次

トップマネジメントメッセージ	1
品質／環境方針	2
1. マネジメントシステム体制	4
2. 全社エネルギー管理状況	5
3. 2016年度 環境目標と実績	6
1) 京都本社	6
2) 滋賀事業所	9
3) 東京支社	14
4. イシダ環境活動への取り組み～これまでの経緯	17
5. 株式会社 イシダ 概要	18

1. マネジメントシステム体制



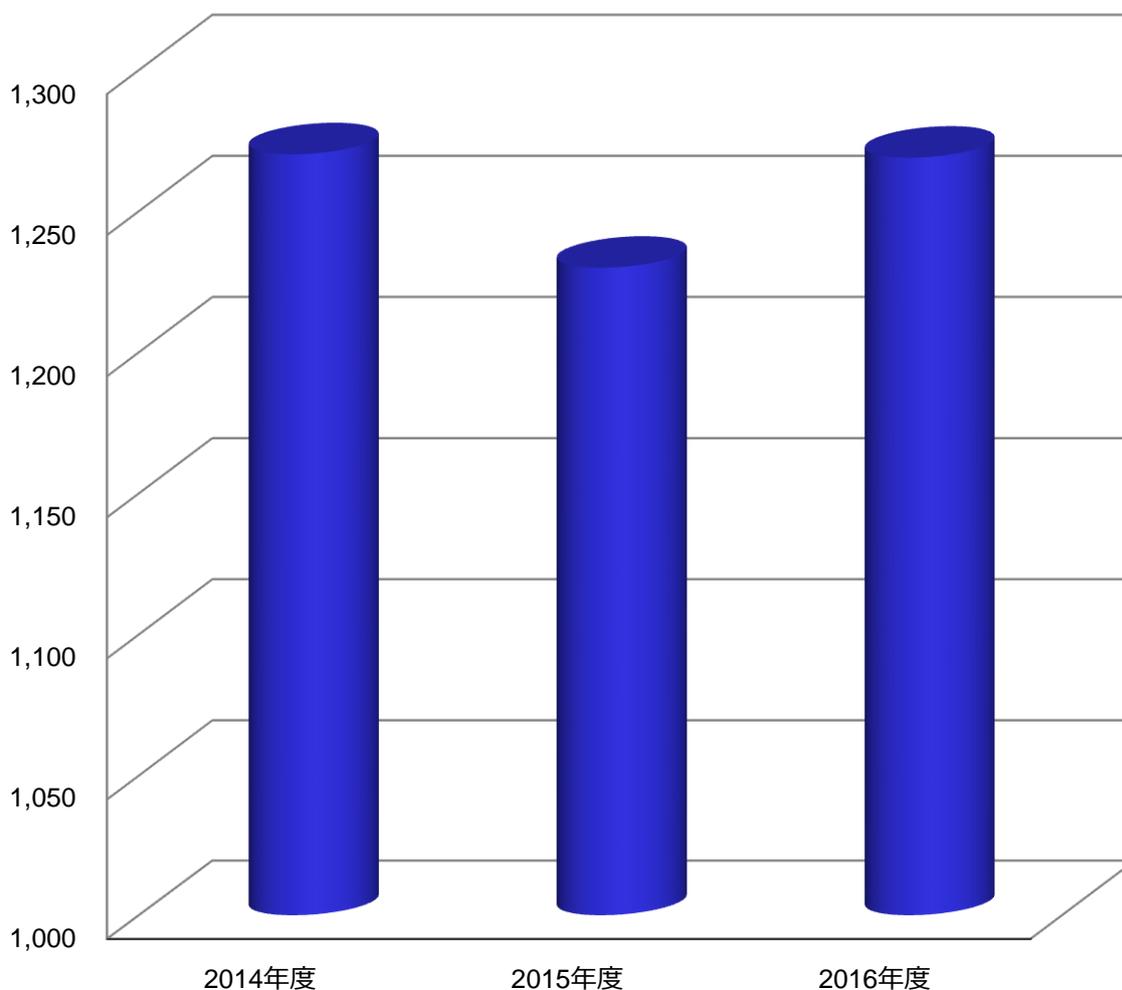
2. 全社エネルギー管理状況

当社は、全社的な省エネ活動を推進するため、国内の営業所、サービス拠点を含む全事業所のエネルギー使用量を毎月集計し、年間目標の達成に役立てています。

不要な照明の消灯や空調の設定温度の適正化などの基本的な省エネ活動により、またひとりひとりに省エネ意識が定着したことから全社でのエネルギー使用量は減少傾向にあります。

しかし、昨年は、原油換算エネルギー使用量で、目標 1254 kL に対し実績 1270 kL と目標の未達成に終わりました。空調設備による電力使用の比率が高く、その年の寒暖など気候の影響を受けるという側面もありますが、生産量や人員の増加がその主な要因と分析しています。

使用エネルギーが効果的に事業活動に結びつくよう、また異常なエネルギー使用が発生しないよう確実な監視を続けます。



全社のエネルギー使用量（原油換算 縦軸：kL）

3. 2016 年度 環境目標と実績

京都本社

環境目的・目標の概要表

重点課題	環境目的 (2016 年度～2018 年度)	環境目標 (2016 年度)	結果 (目標比)
環境貢献製品の提供	1) 環境貢献製品の企画・販売促進 環境貢献製品の企画・販売促進を通じて環境保全に寄与し、業績向上に貢献する	1) 環境貢献製品の企画 ・企画、提案件数 2) 環境貢献製品の販売促進 ・販売台数	1) 100%  2) 125.4% 
省エネルギー ・省資源	1) エネルギー使用量の適正管理 ・本社エネルギー使用量の把握と監視 ・経費節減への貢献 2) 「5S」徹底による業務効率化 5S 活動を通じて「ムダ」を省き、業務効率向上を図る	1) エネルギー使用量の適正管理 【監視項目】 ・エネルギー使用量 90 kL 以下（原油換算） 2) 「5S」徹底による業務効率化 ・「本社 5S 共通徹底テーマ」の達成率 90%以上 ・各月強化テーマ 100%達成 3 回以上	1) 93.0%  2) 96.6% 
環境負荷物質の削減	「ごみ減量 3R 活動優良事業所」 認証継続 1) 廃棄物排出の抑止 2) 廃棄物処理の順法維持	1) 廃棄物排出の抑止【監視項目】 ・OA 用紙購入量の削減 ⇒2013~2015 年度平均購入量を維持 2) マニフェストの適正管理 3) 「産廃・3R 等優良事業場」 認定継続	1) 96.9%  2) 100% 3) 100% 

■ 電気使用量の削減

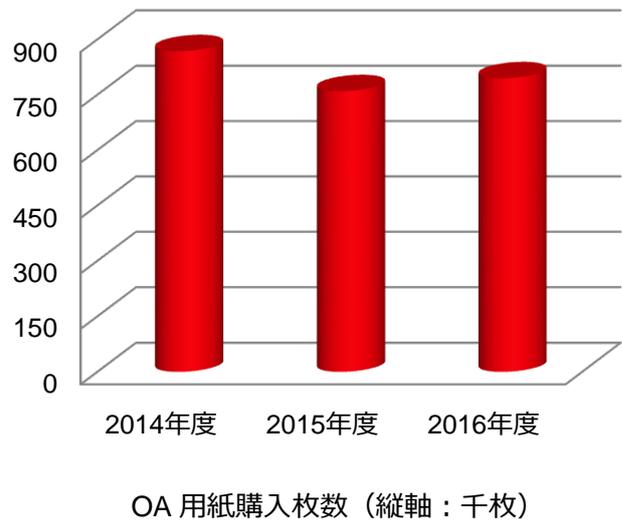
残念ながら前年度対比で 11.8%の増加となりました。

2016 年度は、猛暑と寒波による気温の変化が要因で増加となりました。しかしながら、本社内で省エネの意識が定着し、日常の取り組み（部門毎に不要照明の消灯や空調温度の管理・スーパークールビズ等）では多少貢献できたと考えておりますが、社員のエコ活動だけでは電気使用量削減も頭打ちとなってまいりますので、今後は照明・空調機器等の設備面での削減を推進し、引き続き一層の電気使用量削減を施して参ります。



■ 廃棄物（OA用紙購入量）の削減

2016 年度は「2013～2015 年度平均購入量（約 820 千枚）を維持」という目標に対し、3.1%削減することができました。業務改善でのワークフロー化により紙の使用量の削減、紙文書の電子化や裏紙利用の促進などの活動の定着や、社員の中で削減意識が浸透したことが、購入量削減に寄与したと考えています。



産廃処理・3R等優良事業場 特別表彰の件

事業所から排出される廃棄物は、事業者の責任で処理することが法律で義務付けられています。当社は産業廃棄物の適正処理の実施に対して、高い意識を持って日々取り組んでおります。その結果、2012年から京都市環境政策局で導入されました「ごみ減量・3R活動優良事業所」の認定を3年連続して受賞し、この度永年優良事業所として認定されました。同時に、「産廃処理・3R等優良事業場認定制度」の認定につきましても過去3年連続して受賞し、この度特別表彰されました。当制度は、産業廃棄物処理の基本的な取り組みを基準に照らして自己チェックし、その結果を京都市環境政策局が審査することでその意識向上を目指すものです。当社は、産業廃棄物の保管及び処理委託等が適正に行われており、また3Rの推進や環境負荷の低減に向けた取り組みが基準以上であるとの高い評価を受けました。引き続き、産業廃棄物の適正処理に努めていくと同時に、企業としての社会的責任を果たして参ります。



産廃処理・3R等優良事業所表彰



受賞風景

京都本社 環境管理責任者コメント

京都本社は、営業・スタッフ部門が中心の拠点で、「環境貢献製品の販売促進」や「省エネ・省資源（エネルギー使用量の適正管理と5S徹底）」を主な環境目標の項目に挙げ、日々環境活動に取り組んでおります。

近年では、環境負荷の少ない循環型社会の形成に向けた3Rの推進にも積極的に取り組み、前述のように2016年10月には「ごみ減量・3R活動優良事業所」、2017年3月には「産廃処理・3R等優良事業場」としてそれぞれ京都市から認定を受けております。

2017年度も全社の環境方針や環境目標に沿って本社独自の目標を立て、引き続き、優良事業所の認定に恥じないよう本来の事業活動と一体化した環境マネジメントに取り組み、企業として、また社会的責任の1つとして環境保全に貢献・寄与できるよう社員一丸となって日々取り組んで参ります。

本社環境管理責任者 岩崎 佳生

滋賀事業所

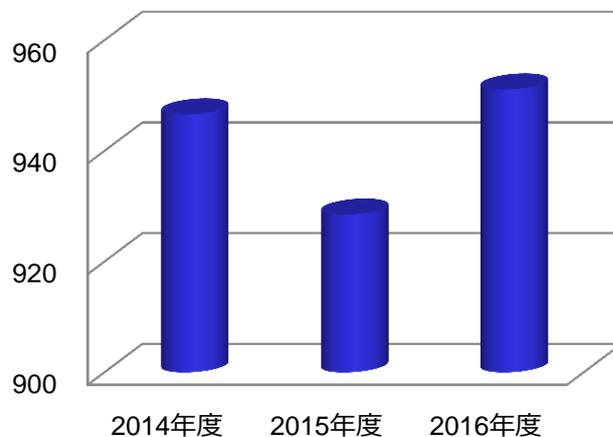
環境目的・目標の概要表

重点課題	環境目的 (2013 年度～2016 年度)	環境目標 (2016 年度)	結果 (目標 比)
環境貢献製品 の提供	1) 環境貢献製品の開発・ 環境貢献製品による 売上げへの貢献	1) 環境貢献製品の開発・ 環境貢献製品を 8 機種以上 製品化完了	1) 75%
省エネルギー ・省資源	1) エネルギー使用量の適正管理 ・事業所再開発後のエネルギー 使用量の把握と監視 経費節減への貢献	1) エネルギー使用量の適理・ エネルギー使用量 929 kL 以下 (原油換算)	1) 103.2%
環境負荷物質 の削減	1) 製品に含まれる有害物質の排除 ・RoHS II 指令対応 2) 廃棄物排出の抑止	1) RoHS II 適合機種 of 拡大 ・RoHS II 適合部品拡大 管理体制の強化 2) 廃棄物排出の抑止 ・廃棄物原単位 4.60 kg/100 万円以下 (原単位 = 廃棄物量/内作生産金額)	1) 継続  2) 98.2% 

エネルギー使用量の推移

2016年度は、目標使用量 929 kL 以下に対し、実績 951.1 kL となりました。デマンドコントロールの導入やテクノビルの LED 照明導入が完了しましたが、生産量や人員増加のためエネルギー使用量も増えてしまい目標を達成することができませんでした。

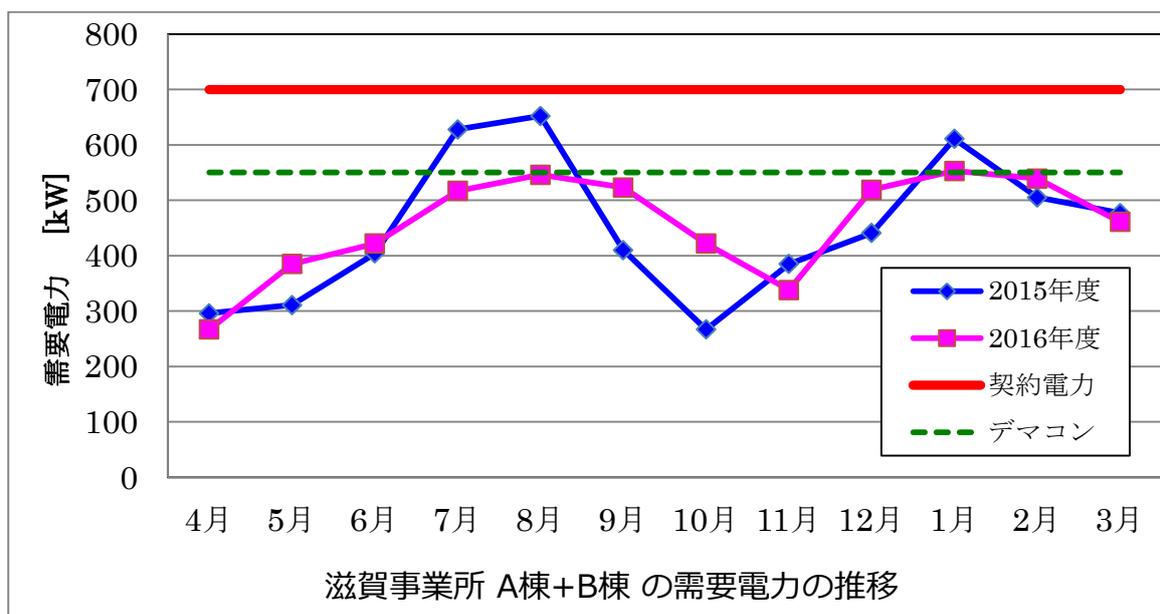
本年度も監視を継続し、社員の省エネに対する取組や無駄の出ないように種々の施策を実施してまいります。



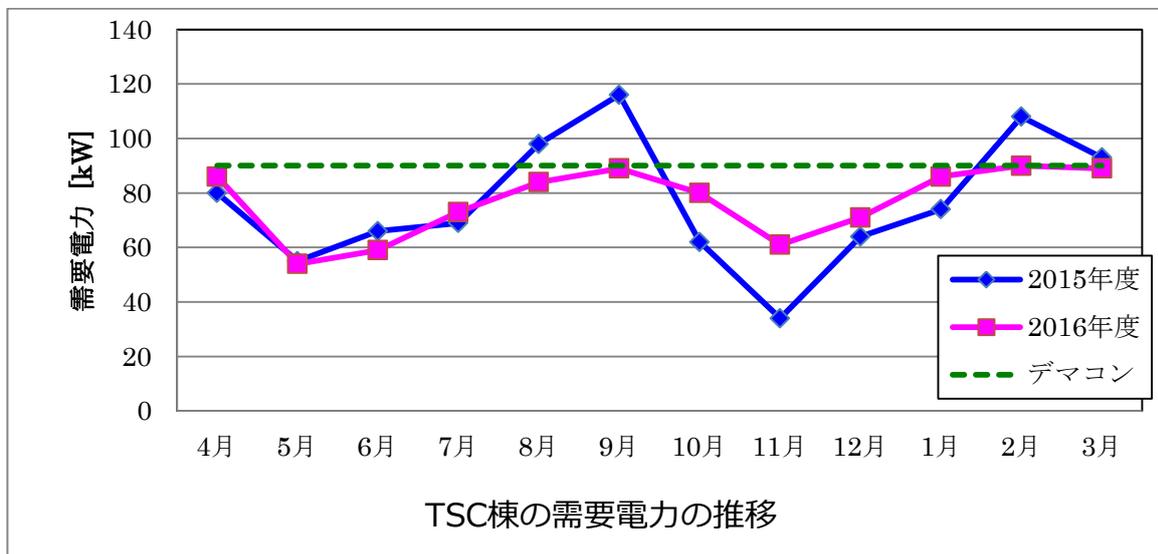
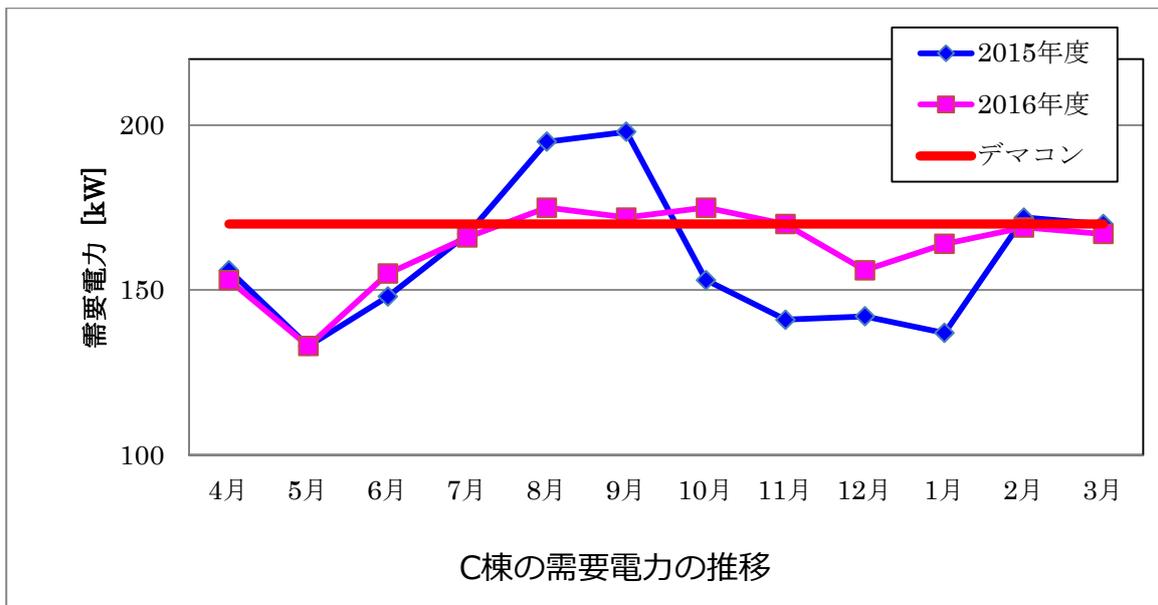
エネルギー使用量 (原油換算 縦軸 : kL)

デマンドコントロール機能

デマンドコントロール機能を導入いたしました。デマンドコントロールとは「最大需要電力」があらかじめ設定した目標電力を超えそうになった場合、警報等による通知や、負荷が高い設備を自動で停止するなどの機能を持つ設備です。2015年度に比べて2016年度は、デマンド抑制により節電に大きく貢献しました。

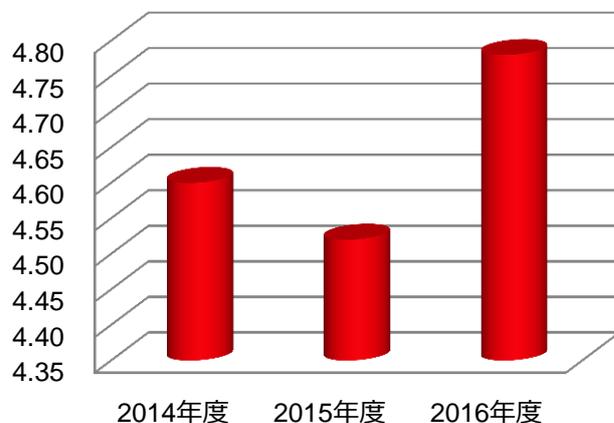


滋賀事業所 A棟+B棟 の需要電力の推移



■ 廃棄物の削減

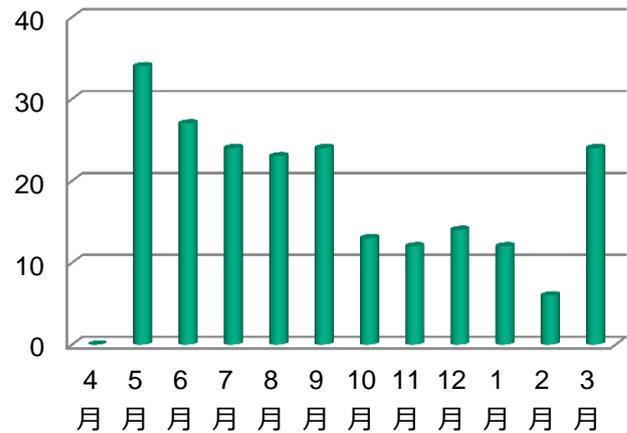
滋賀事業所では、廃棄物の排出量の管理・削減のために「廃棄物原単位」という指標を定め、活用しています。「廃棄物原単位」とは、内作生産金額（滋賀事業所内で生産した製品の売り上げ）100万円当たりの滋賀事業所での廃棄物の排出量から算出されます。結果的に廃棄物原単位は「4.78 kg/100万円」となり、本年度の目標である「4.60 kg/100万円」を達成することができませんでした。



廃棄物原単位（縦軸：kg/100万円）

■ エコフオスター活動

「淡海エコフオスター制度」に基づく環境美化活動として、2004年から毎月1回、滋賀事業所周辺の道路の清掃活動を行っています。夏季は午後5時30分から、冬季は午前8時から30分程度活動しています。2016年度は4月度が雨天のため開催できませんでしたが、5月~3月は開催でき、のべ216名の方が参加し、約15kgのごみを収集しました。



エコフオスター参加者（縦軸：人数）

■ 環境学習事業への協力

イシダでは、京都商工会議所 環境対策特別委員会が主催する「小学生への環境学習事業」に協力し、毎年、女性社員が主体となり、京都市の小学校で環境出前授業を行っています。

2016年度は、11月29日に京都市立北白川小学校で「はかるの世界から環境を考えよう」のテーマにて授業を行いました。



環境学習事業の風景

滋賀事業所 品質／環境管理責任者コメント

2016年度 滋賀事業所の環境目標につきまして、環境貢献製品の提供では、6機種の製品化を完了いたしました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

省資源・省エネルギーでは、目標を2015年度同等としておりましたが、3.2%超過という結果に終わりました。しかし、当社売上の伸びよりも、省資源・省エネルギーは抑えられているので、デマンドコントロールや見える化は効果があると考えており、継続して参ります。

環境負荷物質の削減では、製品のRoHS対応は完了しましたが、2年後に控えるRoHS対象の追加4物質への取り組みを開始しております。こちらも取組先様や関係部署とこれまで以上に密に連携を取り、製品の環境対応に取り組んで参ります。

ISO14001の認証においては、2017年6月に品質・環境の統合・2015年版への移行審査を受けます。より高いレベルのマネジメントシステムを目指し、活動を継続して参ります。

滋賀事業所 品質／環境管理責任者 井上 昇

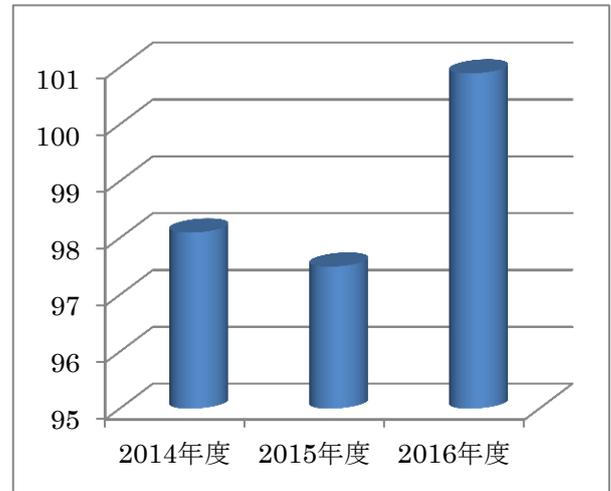
東京支社

環境目的・目標の概要表

重点課題	環境目的 (2014年度～2016年度)	環境目標 (2016年度)	結果 (目標比)
環境貢献製品の提供	1) 環境貢献製品の販売 環境貢献製品の開発・販売を通じて環境保全に寄与し、業績向上に貢献する 2) 環境貢献製品の開発支援	1) 環境貢献製品の提供 ・環境貢献製品を含む売上目標 2) 環境貢献製品の開発支援 ・タブレットを利用したペーパーレスピッキングシステムの開発支援	1) 100%  2) 100% 
省エネルギー・省資源	1) エネルギー使用量の適正管理 ・東京支社エネルギー使用量の把握と監視 ・経費節減への貢献	1) エネルギー使用量の適正管理 【監視項目】 ・原油換算エネルギー使用量 東京支社 98.8kL 以下	1) 102.1% 
環境負荷物質の削減	1) 廃棄物排出の抑止 2) 廃棄物処理の順法確保	1) 廃棄物排出の抑止 【監視項目】 ・OA用紙購入量の維持 年間購入量 9m ³ 以下 2) 廃棄物処理の順法確保 ・順法処分 100%	1) 86.1%  2) 100% 

■ 電気使用量の推移

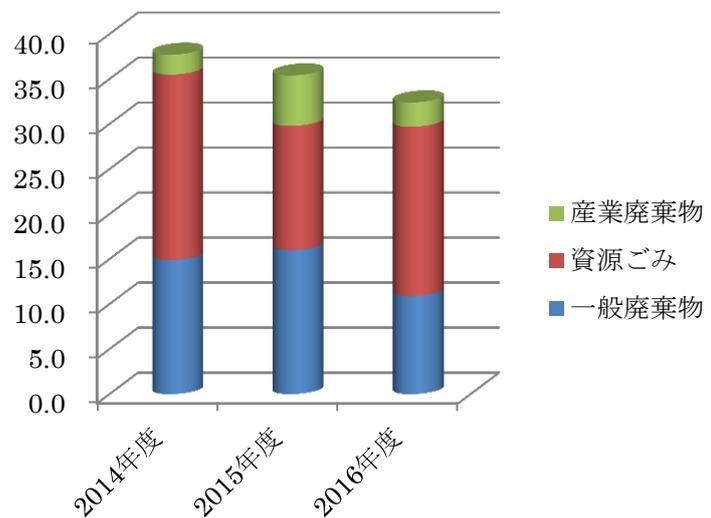
昨年 69 期の 97.5 kL から 100.9 kL と 3.4% の使用量増、目標の 98.8 kL に対し、102.1%と目標未達でした。社員増、売上増による電力を使用したセットアップ作業の増加、70 期より屋上看板への照明設備使用等、増加の原因は多岐にわたりますが、是正処置報告書にて対応を明確にする一方、より社内でのエコ活動を推進し、71 期目標必達すべく活動致します。



電気使用量（原油換算 縦軸：kL）

■ 廃棄物排出量の削減

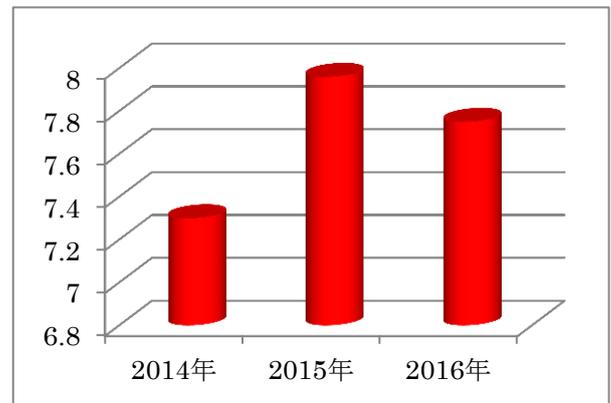
廃棄物排出量については、電気使用量増に記した要因による増加が懸念されましたが、ドキュワークス展開によるペーパーレス化やリサイクル、リユースの意識が周知されてきたこともあり、昨年対比で 8.4%削減することができました。ドキュワークスの展開は事務局（東京総務人事課）主導で他部署への展開を継続しておりますので、引き続き廃棄物排出量削減に取り組んで参ります。



廃棄物排出量（縦軸：トン）

OA 用紙購入量の削減

OA 用紙購入量については、昨年対比で 2.6% 削減、対目標 9 m³ に対し、7.75 m³ (86.1%) と目標達成しております。要因としては、ドキュワークスを活用したペーパーレス化が推進されていることが挙げられますが、LN 導入前の 2014 年の水準には達しておりませんので引き続き、ドキュワークスの他部署展開および裏紙の活用等で削減して参ります。



OA 用紙購入量 (縦軸 : m³)

東京支社 環境管理責任者コメント

2016 年度は環境貢献製品販売目標、廃棄物削減、OA 用紙購入量は達成しましたが、エネルギー使用量が目標未達となりました。エコオフィス活動は継続して推進している一方、社員・売上の増加、照明設備の増設等がエネルギー使用量増の要因として挙げられます。今後エネルギー使用量の削減、維持するためには、老朽化している空調機等の設備更新が策として考えられますが、東京支社は建替えが計画されており、設備更新ができませんので、目標値の見直しをするとともに、より一層エコオフィス活動を推進させて参ります。また、新社屋計画にあたっては、省エネ設備の選定や環境配慮を念頭にプロジェクトに参画致します。

2017 年度は ISO 規格の改定、品質 ISO との統合初年度となりますので、全社の環境方針や環境目標に沿った東京支社独自の目標を立て、これらを達成することで環境に貢献していく所存です。

東京支社 環境管理責任者 増田 博行

4. イシダ環境活動への取り組み～これまでの経緯

- 2004年 滋賀事業所 ISO14001 認証取得
イシダ・エコフォスター活動を開始
- 2005年 京都商工会議所 「小学生への環境学習事業」に協力開始
- 2006年 「びっくりエコ100選」に参加、展示
滋賀県家庭教育協力企業協定、締結
- 2007年 京都議定書ウォーキングパレードに参加
- 2008年 滋賀県教育委員会 「学校支援メニュー」に登録
- 2009年 京都本社、東京支社 ISO14001 認証取得
経済産業省委託事業 サプライチェーン省資源化連携促進事業に参加
- 2010年 ノントレー包装機 NTP-UNI ロハス大賞（モノ部門）受賞
京都 CO₂削減バンク エコポイントモデル事業に参加
- 2011年 滋賀事業所 5棟にLED照明を導入
- 2012年 京都本社 ごみ減量・3R 優良事業者 認証取得
- 2013年 滋賀事業所 公益社団法人滋賀県環境保全協会 優良事業所表彰
- 2014年 京都市教育委員会 小学生への環境学習事業 感謝状受納
- 2015年 滋賀事業所 A棟竣工 グランドオープン
- 2016年 滋賀事業所 テクノビル LED照明の導入が完了

5. 株式会社イシダ 概要

事業概要：生産、物流、流通分野における計量・包装・検査システム機器の製造・販売

創業：1893年5月23日

会社設立：1948年10月26日

資本金：9,963万円

連結売上高：1,091.2億円（イシダ単体売上高 795.44億円 2017年3月決算）

グループ従業員数：3,451名（イシダ単体従業員数 1,430名 2017年6月21日時点）

各事業所所在地：本社 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町44番地

TEL.(075)771-4141(代) FAX.(075)751-0747

滋賀事業所 〒520-3026 滋賀県栗東市下鉤959番地の1

TEL.(077)553-4141(代) FAX.(077)551-0350

東京支社 〒173-0004 東京都板橋区板橋1丁目52番1号

TEL.(03)3964-6111(代) FAX.(03)3962-6299

発行：株式会社イシダ 滋賀事業所
品質保証部

TEL (077) 551-0168

FAX (077) 551-0368